

ピューブリシスグループ マイクロソフトからレイザーフィッシュを買収

買収によりピューブリシスグループはデジタルコミュニケーション業界のグローバルリーダーとなる。

フランス パリ/レッドモンド 米ワシントン州 2009/8/9ーピューブリシスグループとマイクロソフトは、ピューブリシスグループがデジタルマーケティングエージェンシートップのレイザーフィッシュを買収することに合意したと発表した。レイザーフィッシュの買収金額はおよそ5億3000万ドルで現金とピューブリシスグループの自己株式で支払い予定。加えて両社は買収成立後に有効となる戦略的提携を結んだ。

「レイザーフィッシュの買収は、当社のクライアントにとって、最も重要であるデジタルコミュニケーション業界でグローバルリーダーシップを構築するという、我々の戦略的ビジョン実現を進めるもう一つのステップである。」 Maurice Levy-ピューブリシスグループ 会長兼最高経営責任者は語る。「何よりもまず今回の買収によって、ピューブリシスグループには、幅広い人材層に才能あふれる人材やエキスパートが揃い、クライアントが製品やサービスを市場に出す際に新しいデジタルワールドで最大級の利益を生む方法を提案できるようになると示す事ができる。レイザーフィッシュの素晴らしい才能を持った人材により我々の能力は一層強化されるだろう。我々はピューブリシスグループファミリーへ新たに加わるレイザーフィッシュを歓迎している。」

「レイザーフィッシュは、その並外れたデジタルカスタマーエクスペリエンスと、そのためのマーケティング・ツールで有名である。それらにより当社既存のサービスレイパビリティのラインを強化し、今後ますます増えるであろうデジタルワールドの人々とクライアントのつながりを保つことができる。」と Levy 氏は付け加えた。「そうしたレイザーフィッシュの能力資産を補完できる当社の専門性は、当社のクライアント、株主にとって大変な価値となるだろう。」

Levy 氏は以下のように話を結んだ。「買収成立後、当社のデジタルコミュニケーション部門売上はグループ年間売上のおよそ4分の1を占めるものと見込んでいる。又、当社には新しいクライアントと共にさらに成長できる能力があると確信している。同じように重要で喜ばしいことは、今回の買収によって得られるマイクロソフトとの戦略的提携関係である。これは6月に発表したもので、幅広いブランドマーケッターに革新的なオンラインソリューションを提供し促進するための提携方法を検討するものである。」

マイクロソフトのステイブ・バルマー最高経営責任者は、「2007年にaQuantiveの傘下会社として買収して以来、これまでのレイザーフィッシュによる当社のオンライン広告ビジネスへの貢献に感謝している。同時にレイザーフィッシュの新しい我が家がピューブリシスグループに決まった事をととても嬉しく思っている。今後もレイザーフィッシュとは当社が利用する広告代理店の一社として一緒に仕事を続けてゆきたい。ピューブリシスグループの

傘下となったレイザーフィッシュは、デジタル広告業界での成功を足がかりに、さらに前進してゆくと確信している。」

レイザーフィッシュのブランド名は変わらず、組織的にはピューブリスグループが 2008 年 6 月、Digitas、Starcom-MediaVest、Denuo、Zenith-Optimedia の管轄と連携を目的として設立した、VivaKi 部門配下に組み込まれる予定である。レイザーフィッシュの主要クライアントは、ベストバイ、フォード、マクドナルド、マイクロソフト、スターウッズホテルズ等である。

VivaKi のデビッド・ケニー最高経営責任者は次のように語った。「我々は今回の買収判断を、クライアントに利益をもたらす潜在性の可否をベースに進めてきた。レイザーフィッシュが VivaKi のポートフォリオに加わった事で、最適なサービスや、有利な取引条件を、当社クライアントに提供する、幅広く多様なケイパビリティプラットフォームを構築できると考えている。加えて、マイクロソフトと協業する事で、クライアントに独占的でまだどこでも使われていないプログラム、コンテンツ、サービス、ならびにエクスペリエンスを、開発し提供できるようになる。」

今回の戦略的提携契約は、6 月にマイクロソフトとピューブリスグループで交わされ、発表した提携契約を、拡充した内容となっている。この戦略的提携契約により、ピューブリスグループのメディアクライアントは、それぞれの広告代理店がマイクロソフトからディスプレイ広告や検索型広告を一定量の最小限購入を保証する引き換えとして、今後 5 年の契約期間中に好条件で購入できるようになる。又、この契約でマイクロソフトは、レイザーフィッシュのデジタル戦略、クリエイティブ、マーケティングサービスを、優先的に利用し、契約期間中に一定量の年間最小限購入を保証すると誓約している。

ボブ・ロード最高経営責任者が率いるレイザーフィッシュの経営陣に変更の予定はない。ロード氏は、「ピューブリスグループは、レイザーフィッシュにとって理想的な技術・文化的な釣り合いと、我々のクライアントにも新しいリソースをシェアするチャンスを提供してくれる。弊社のテクノロジー能力はピューブリスグループ傘下のオンライン広告会社にも準拠しているので、レイザーフィッシュのミッションである世界進出の規模ならびにサービス拡大を、加速化することができるだろう。そして、ピューブリスグループ/VivaKi 傘下の会社と協業することで、才気あふれる人材の育成、専門的能力の開発が実現でき、弊社がクライアントに提供するケイパビリティを拡大することができるだろう。」

買収金の支払いは現金とピューブリスグループの自己株式 650 万株で支払われる。現金部分については、買収成立の 8 営業日前までの 20 取引日における同社株平均終値を基に決定される。

今回の買収取引は米ハートスコットロディノ法の届出を含む事務的処理の状況によるが、

2009年第4四半期に成立予定である。

ピューブリシスグループについて

ピューブリシスグループ（ユーロネクスト・パリ：FR0000130577）は、世界第4位の規模を持つコミュニケーショングループである。加えて、世界第2位のメディアエージェンシーにランクされ、デジタルならびにヘルスケアに関するコミュニケーションではグローバルリーダーである。その経営は5大陸104カ国に及び従業員数は約44000名である。ピューブリシスグループは国内・国際のクライアントにLeo Burnett, Publicis, Saatchi & Saatchiの3ネットワークとマルチハブのFallon, Bartle Bogle Hegarty(49%出資)を通じて全ての種類の広告サービスを提供している。メディアコンサルタントとバイイングは、国際ネットワークのStarcom Media Vest Group Zenith-Optimaを通じて提供。インタラクティブとデジタルマーケティングはDigitasが先導している。ピューブリシスグループは2008年6月、Digitas、Starcom-MediaVest、Denuo、Zenith-Optimediaの管轄と連携規模を活用する目的で、VivaKi部門を立ち上げ、新しいサービス、ツール、次世代型デジタルプラットフォームの開発を行っている。ピューブリシスグループのSpecialized Agencies and Marketing Services部門では、ヘルスケア業界のコミュニケーション、企業情報、財務情報、サステナビリティコミュニケーション、ショッパーマーケティング、PR、CRM、ダイレクトマーケティング、イベント・スポーツマーケティング、複数文化間コミュニケーションのサービスを提供している。ウェブサイト：www.publicisgroupe.com

マイクロソフトについて

マイクロソフト（ナスダック：MSFT）は1975年に設立され、人や企業が潜在力を発揮するのに役立つソフトウェア、サービス、ソリューションを提供する国際的なリーダー企業である。ウェブサイト：<http://advertising.microsoft.com>

レイザーフィッシュについて

レイザーフィッシュは、世界最大規模のインタラクティブマーケティングとテクノロジーを提供するエージェンシーである。レイザーフィッシュはクライアントにウェブ、モバイルデバイス、インスタテクノロジー、その他新興メディア等のデジタルチャネルを使い、顧客を魅了するブランドロイヤリティの構築や、優れたカスタマーサービスを、提供している。同社のソーシャルインフルエンスマーケティング（ソーシャルメディアやソーシャルインフルエンサーを導入したマーケティングサービス）の需要は増加している。受賞歴を持つクライアントチームは、戦略コンサルティングから、デジタル広告、コンテンツ制作、メディアバイイング、分析、テクノロジー、ユーザーエクスペリエンスまでを、提供している。レイザーフィッシュは、米国各市場と、オーストラリア、中国、フランス、ドイツ、日本、スペイン、イギリスに拠点を持っている。主要クライアントは、カーニバル・クルーズ・ライン、ミラークアーズ、リーバイス、マクドナルド、スターウッドホテル等。ウェブサイト：www.razorfish.com ツイッター：Twitter at @Razorfish.